

介護＝笑顔を地域に広げよう！

アクティブ福祉

第62号

社会福祉法人東京都社会福祉協議会
2025年8月発行 東京都高齢者福祉施設協議会 機関誌



高齢協
ウェブサイト
はこちら♪



東京都高齢者福祉施設協議会
マスコット「アクティブル」

特集

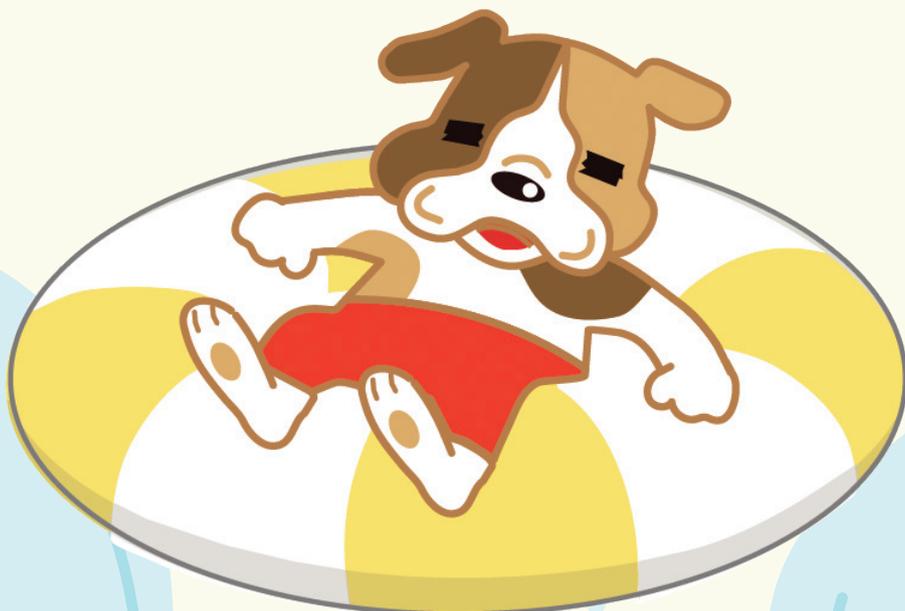
関東ブロック老人福祉施設研究総会 アクティブ福祉 in 東京'25 合同大会

東京ケアリーダーズが行く！うわさの施設 アクティブ福祉 in 東京'25 優秀賞受賞施設

- (その37) 当事者の想いを逐語録としてまとめた「わたしの想い」
プロジェクト効果 地域包括支援センターときわぎ国領（調布市）
- (その38) 「本気の避難訓練」等々力の家（世田谷区）

生産性の向上の取り組みシリーズ

第1弾 神明園（羽村市）



特集

関東ブロック老人福祉施設研究総会・アクティブ福祉 in 東京 '25 合同大会

— 開催報告と結果発表 —

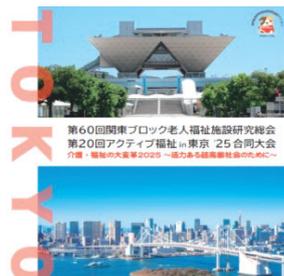
「関東ブロック老人福祉施設研究総会・アクティブ福祉 in 東京 '25 合同大会」とは

関東ブロック老人福祉施設研究総会・アクティブ福祉 in 東京 '25 合同大会は、1都10県5市の高齢者福祉施設や介護保険事業所の職員が一堂に会して行う実践・研究の発表大会です。

今年度は関東ブロック老人福祉施設研究総会の開催当番県が東京都になったことから、東京都の高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉 in 東京」と合同開催することとなりました。

大会の概要について

- ・ 期日：令和7年6月12日（木）・13日（金）
- ・ 場所：1日目（全体会）：東京ビッグサイト7階国際会議場／
2日目（分科会）：TOC有明4階、20階
- ・ 大会テーマ：介護・福祉の大変革 2025～活力ある超高齢社会のために～
- ・ 参加人数：1,384名（学生含む）
- ・ プログラム



日程	内容	
1日目	<p>開会式典</p>  <p>◀開会式典の様子 (田中会長)</p> <p>基調報告 全国老人福祉施設協議会会長 大山 知子氏 行政報告 厚労省老健局高齢者支援課長 峰村 浩司氏 スペシャル対談 ハリー杉山氏・町亞聖氏</p>  <p>◀左から町亞聖さん、アクティブブル君、ハリー杉山さん</p>	<p>アトラクション</p> <p>サンバチーム G.R.E.S. ALEGRIA (アレグリア)</p>  <p>◀サンバパフォーマンスの様子</p>
	<p>口演発表</p> <p>実践・研究の内容をパワーポイントにまとめ、1題15分で発表 8会場・全75題（うち学生発表1題）</p>  <p>◀口演発表会場の様子</p>	<p>企業ブース出展</p> <p>福祉用品・福祉機器等を取り扱う企業の出展16社（18ブース）</p> 
2日目	<p>企業ブース出展</p> <p>福祉用品・福祉機器等を取り扱う企業の出展19社（23ブース）</p> 	

日程	内容	
2日目	<p>東京ケアリーダーズ ブース出展 「ケアトーク～現職介護士と話そう～」</p>  <p>◀ケアトークの様子</p>	<p>ランチョンセミナー 福祉用品・福祉機器等を取り扱う企業のセミナー 3社</p> 

口演発表審査結果・「アクティブ福祉 in 東京 '25」表彰式について



関東ブロック老人福祉施設研究総会 優秀賞

テーマ（口演発表会場）ごとに、高齢者福祉分野における見識を持つ者によって審査を行い、総得点が1位の発表を優秀賞として表彰します。

分科会	発表都県市	施設名	主題
第1分科会	山梨県	特別養護老人ホーム 風林荘別館	あなたのことが大好きです。～ユマニチュードの実践～
第2分科会	群馬県	特別養護老人ホーム まごころ	電子化嗜好調査がもたらす 食事満足度向上への取り組み～迅速なニーズ把握と個別対応による満足度向上の実績～
第3分科会	東京都	TOKYOの未来を創る 社会福祉法人協会の	複数法人の協働による人材確保事業～都内10法人による就職フェアがもたらした効果～
第4分科会	茨城県	しらとりハワイアン デイサービス	シニアフィットネスで心も身体も大満足！～選択理論心理学を活用した利用者満足度評価～
第5分科会	静岡県	掛川市ききょう荘	虐待防止検討委員会の取り組み～長期目標は「虐待の防止」短期目標は「虐待防止の意識化」～

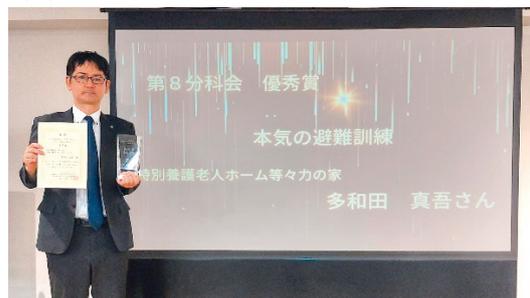


アクティブ福祉 in 東京 '25 優秀賞

テーマ（口演発表会場）ごとに、高齢者福祉分野における見識を持つ者によって審査を行い、総得点が上位2題の発表を優秀賞として表彰します。

分科会	施設名	発表者	主題
第6分科会	特別養護老人ホーム谷中	小松 志帆さん 天野 由貴さん	最後まで経口摂取にこだわり、誤嚥予防に取り組んだ20年
第6分科会	特別養護老人ホーム神明園	高篠 沙耶香さん 澤田 美央さん	“楽しみ”の提供からみるサクセスフル・エイジング
第7分科会	特別養護老人ホーム博水の郷	岩永 真祐さん 佐藤 大介さん	働きやすい職場による利用者満足度の向上
第7分科会	好日苑	渡邊 千尋さん 佐々木 綾子さん	介護ロボット等を活用して「持ち上げない介護」の実践による生産性向上の取り組み
第8分科会	等々力の家	多和田 真吾さん	本気の避難訓練
第8分科会	調布市地域包括支援センターときわぎ国領	小嶋 泰之さん 道脇 絢子さん	当事者の想いを逐語録としてまとめた「わたしの思い」プロジェクトの効果

▼アクティブ福祉 in 東京 '25の受賞者には、7月17日（木）の表彰式にて賞状とトロフィーが授与されました。



◀表彰式の様子

東京ケアリーダーズが行く！

うわさの
施設

東京都高齢者福祉施設協議会の数ある会員（約1200施設・事業所）のうち、表彰や推薦など、名誉ある経験をもつ施設を紹介するコーナー。毎回「うわさ」の施設を東京ケアリーダーズが訪問し、お話を伺います。

その
37

2025年開催 第20回高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉 in 東京 '25」
第8分科会「次世代を見据えた人材採用・育成・定着／広報戦略」優秀賞
社会福祉法人常盤会 調布市地域包括支援センターときわぎ国領

当事者の想いを綴った逐語録が在宅と施設の架け橋に

「アクティブ福祉 in 東京 '25」で優秀賞を獲得した調布市地域包括支援センターときわぎ国領。認知症当事者やご家族の声を逐語録の冊子「わたしの想い」として制作・製本したことが評価されました。今回は、発表者である社会福祉士で介護支援専門員の小嶋泰之さんと道脇絢子さんにお話を伺いました。



〈取材の様子〉

左から ときわぎ国領
道脇絢子さん、小嶋泰之さん

—「わたしの想い」は3冊あります。Vol. 1は一人暮らしを継続する認知症当事者の方、Vol. 2は家族介護者、Vol. 3は家族に先立たれた方に焦点を当てた対談形式の冊子です。今回のプロジェクトが始まったきっかけを教えてください

道脇 地域で認知症サポーター養成講座の啓発を行っていたものの、当事者の声が今一つ伝え

きれいなが、コロナ禍になりました。人を介さない取り組みの一環として、長年私たちに協力くださる地元の認知症当事者のお二人に対談をお願いしたところ、ご快諾いただきスタートしました。

小嶋 私と道脇がときわぎ国領に来て10年、他の職員も長く地域に関わっています。信頼関係を長年築いた方に、対談に応じていただけたのが大きかったと思います。

—「わたしの想い」の制作にあたり、こだわった点はどこなところでしょうか？

小嶋 逐語録として、その方の言葉をそのまま残すことにこだわりました。話した方の想いは喋り方、語尾、間の一つひとつに宿ると感じています。話を端折らないように心がけました。

—Vol. 3でACP（アドバンス・ケア・プランニング）をテーマにした理由は何だったのでしょうか？

小嶋 我々のエリアは築60年の団地があり、調布市の中でも一二を争う高齢者の多い地区です。また住宅地は自治会がない場所もあり、そうすると「個人の介護は個人の課題」になりがちです。Vol. 1を読めば「認知症になっても地域で生活が続けられる」ことがわかり、Vol. 3を読むと「最期のことを早めに考えておいた方がいい」ことがわかる。認知症当事者、家族介護者として、3冊目はさまざまな方向に広げられたと考えたからです。

—包括は非常に忙しいです。それでも冊子を制作するモチベーションはどこからくるのでしょうか？

道脇 今回「アクティブ福祉 in 東京 '25」で発表するにあたり、改めて冊子で対談して下さった方に話を伺うと、「みんなにこの冊子のことをもっと知らせたいんだよ」とおっしゃっていました。そういう熱い声を直接聞くことで、自分たちの仕事のやり甲斐や意義を再確認できた気がします。

—「アクティブ福祉 in 東京 '25」に参加した思いを、改めてお聞かせください

小嶋 「アクティブ福祉」は特養の方が数多く発表されるので、包括の私はいつもアウェーに感じていました。介護は、在宅の方がやがて施設に入所する命のバトンリレーです。ですので、包括の取り組みとしてお話ししつつも、他の施設の方も応用できて、介護に携わるすべての方がつながれる発表として昇華できたとき、初めて会場がアウェーでなくなったと感じました。

小嶋 「わたしの想い」は、住民の方の主体的な動きを掘り上げたことでできた冊子です。実際にこの冊子を通じて、他の施設や事業所の方も「当事者の思いは大事なな」と感じていただけたらとてもうれしいです。

—他の施設の方が「わたしの想い」を応用するとしたら、どのようにしたらよいでしょうか

道脇 「わたしの想い」は1万字以上ある冊子です。ですので、そのままマネるのではなく、初めは施設のお便りなどで、当事者の方や職員同士の思いを気軽に載せてみてはいかがでしょうか。忙しいなかでも、ちょっと頑張ることで新しい発見が得られると思います。

—今後の目標をお聞かせください

道脇 配布先を増やすことです。現状、WEBのnoteにも内容を公開していますが、今後は冊子を図書館、医療機関、薬局にも置きたいです。今後は読者アンケートを取り、どこが響いて、冊子の中身をどう活かしたいかをしっかり見極めたいと思います。

—「わたしの想い」を拝読して感じたのは、「介護職の皆さんにオススメしたい」ということでした。介護の技術を学ぶことと同じくらい大事な当事者の想い。そこを理解してから介護に当たることで、ケアの質ががらりと変わっていく気がしました。本日はありがとうございました



冊子「わたしの想い」
Vol. 1～3



〈施設前で〉

左：サン・サン赤坂 鈴木 理恵さん（東京ケアリーダーズ）
中央：ときわぎ国領 道脇さん、右：小嶋さん

*この記事のより詳しい内容は高齢協のホームページの「機関誌アクティブ福祉デジタル」でお読みいただけます。

<https://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/activefukushi/digital/index.html>

社会福祉法人常盤会 調布市地域包括支援センター ときわぎ国領

所在地：〒182-0022 東京都調布市国領町 7-32-2 デュスモン国領 101

電話：050-5540-0860

取材：東京都高齢者福祉施設協議会 東京ケアリーダーズ 鈴木 理恵さん（サン・サン赤坂）

記録・編集：横山 由希路



ときわぎ国領
ホームページ

その
38

2025年開催 第20回高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉 in 東京'25」
第8分科会「次世代を見据えた人材採用・育成・定着／広報戦略」優秀賞
社会福祉法人奉優会 特別養護老人ホーム 等々力の家

30名垂直避難訓練。事前準備からその後の課題まで

「アクティブ福祉 in 東京'25」で優秀賞を獲得した特別養護老人ホーム 等々力の家。階段を使ったワンフロア入居者30名の垂直避難訓練を実施し、発災時に職員が留意すべき点は非常に汎用性が高いと評価されました。今回の聞き手は東京ケアリーダーズに代わり、広報戦略推進委員会の長島利恵さん（マイライフ徳丸）が担当。発表者である施設長で介護支援専門員の多和田真吾さんにお話を伺いました。



〈取材の様子〉
等々力の家 施設長・
介護支援専門員
多和田真吾さん

——2階出火想定で、階段を使って2階30名を垂直避難させる訓練には驚きました。この訓練を実施したきっかけを教えてください

等々力の家はワンフロア30床ずつ、半年かけて大規模改修工事を行いました。改修後、30床で行った基本的なサービスはすべて見直しとなり、災害時の緊急対応に危機感を抱きました。「60名全員避難は難しい。60名を逃がすには、まず30名で避難訓練を行わない」と思い、実行しました。

——垂直避難を行ううえで、参考にしたものはありますか

実は、参考になる資料はありませんでした。というのも、既存の研究の多くは人形を使っていたからです。結局、日勤帯の6名で運ぶ方法を考え、職員だけの模擬訓練を行いました。担架移動に4名、車椅子移動と運びにプラス2名が必要と割り出しました。

——改めて、当日は何人でどのように動きましたか

当日参加するご入居者は、要介護度3～5の方。参加職員は26名。安全性と移動速度を重視しました。担架で運ぶ6名チームが2班あり、6名ずつ順番に3カ所の階段を使って移動しました。他の職員はご入居者の声がけなどに従事。一人が1階まで移動するのに、平均2分45秒かかりました。

——当日どんなことに気付かされましたか

二つあります。一つは、発災時にパニックになるのは職員の方で、認知症の方は落ち着いていたことです。要介護度3～4の方は自然と協力動作を行います。要介護度5の方は協力動作をしないため、職員が慎重になりすぎる傾向がありました。今の話に付随して、避難は要介護度5の方から順番に行くこと。全員避難に現場で迷う時間はありません。これは決まりごとにするべきだと感じました。

——二つ目の気付きはなぜでしょうか

ベッドから担架の移動は難しく、階段までは車椅子で移動した方が速いことです。担架は階段前で車椅子と同じ高さにしてスタンバイすると、移動がスムーズでした。同様に歩ける人も階段までは車椅子に乗せた方が、時間短縮になります。



実際の避難訓練。車椅子から担架への水平移動

——事前準備で大変だったことを教えてください

日々ご入居者の体調が変わることでした。ご入居者に番号を振って逃がす順番を決めていても、訓練2日前にも人の入れ替えが発生してしまう。訓練は安全第一なので、心身ともに安定している方に参加いただく必要があったからです。

——訓練では、外国人職員も日本人と同じマニュアルで行いましたか

同じマニュアルで同じ訓練を行いました。ただしパニックになると、国籍に関係なく一人何役もできないと感じたため、役割を単純化しました。車椅子を持つ係、移動する係というようにです。実際に単純化することで今回はスムーズに進みました。

——今後の課題をお聞かせください

一つ目は、夜間帯発災の場合です。今回は4人で担ぐ担架を使いましたが、2人用の担架もあります。まずそちらを試してみます。二つ目は、地震で施設から出て避難する場合です。その際は近くの高校に避難となりますが、車椅子を押す職員がどれくらい必要か。高校に相談しつつ、30人規模で避難訓練を実施したいと思えます。その際、地面がひび割れ、車椅子で通れないときのシミュレーションも行いたいです。最後は、今回の訓練内容が他施設でもできるかどうか。「アクティブ福祉 in 東京'25」の影響で地域の施設からお声がけいただき、合同で訓練をすることになりました。これからも情報共有しながら、地域で連携を深めたいです。

——消防署の訓練で「煙を吸わないよう、まずは水平移動」と言われていただけに、垂直避難の実施は圧倒されました。雑談のなかでも、事務の私が参考になる気づきがたくさんありました。本日はありがとうございました



〈施設前で〉
左：マイライフ徳丸 長島 利恵さん（広報戦略推進委員会）
右：等々力の家 多和田 真吾さん

*この記事のより詳しい内容は高齢協のホームページの「機関誌アクティブ福祉デジタル」でお読みいただけます。

<https://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/activefukushi/digital/index.html>

社会福祉法人奉優会 特別養護老人ホーム 等々力の家

所在地：〒158-0082 東京都世田谷区等々力 8-26-16

電話：03-5752-0030

取材：東京都高齢者福祉施設協議会 広報戦略推進委員会 長島 利恵さん（マイライフ徳丸）

記録・編集：横山 由希路



等々力の家
ホームページ

特別養護老人ホーム神明園における 生産性向上への取り組み

社会福祉法人亀鶴会 特別養護老人ホーム神明園
役務部長 なかむら なおと 中村 直人

■介護サービスにおける生産性向上

皆様もご存じの通り、以前より増大する介護ニーズに対し、介護を担う人材の不足といった問題が深刻化し介護分野においても「生産性向上に取り組む」という方針が示されております。

一般的な業務での生産性向上といえば「業務効率化」と考えられますが、厚生労働省のガイドラインでは、介護サービスにおける生産性の向上は「介護サービスの価値を高めること」と定義されています。これによって、単純にコスト（労働力や時間、費用など）を減らして効率化を図るという考え方ではないことがわかります。大まかには日頃の業務のムリ・ムダ・ムラを洗い出し計画的に業務改善しようというものですが、介護職員の専門性やモチベーションを高めること、介護職員が相互に働きやすい職場を作ることなども含めた包括的な考え方や取り組みが、介護サービスにおける生産性向上の取り組みであるといえます。



▲神明園外観

■神明園での具体的取り組み例

①情報処理・共有の効率化

事業所の ICT 化として神明園では早期に介護記録ソフトや記録端末、職員間でグループウェア導入を行い園内 Wi-Fi 環境の構築を行いました。

これにより職員間での情報伝達や共有の速度・正確性が向上し介護記録の作成や検索の効率化が図れたと考えております。



▲記録・情報共有システム・記録端末

②介助内容集約による効率化

神明園では以前、2名の抱え上げによる移乗介助を要する方が異なるフロアに複数名おりましたが、同様の介助を必要とする方を同一フロアへ集約しスライド移乗が可能な生活環境を整えることで職員の配置を減らしての対応が可能となりました。また、ノーリフトへの意識が定着し、入浴でのストレッチャー移乗などもスライドシートを使用することで負担が軽減し職員の腰痛発生が減少しました。



▲スライドシート+フルリクライニング車椅子

③次世代介護機器導入による効果

神明園は東京都の次世代介護機器アドバンスド施設としても複数年活動しており種々の次世代介護機器導入を行い成果の確認をしています。

【自動体位変換機能付きエアマットレス】

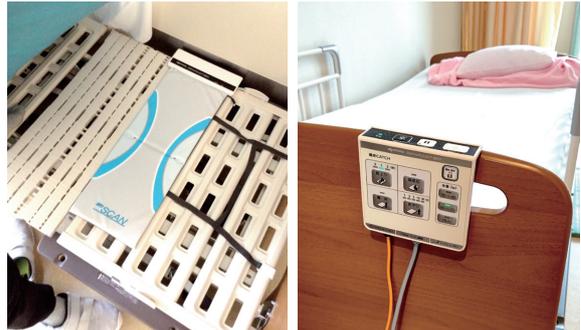
導入より夜間の体位変換に係る職員の負担は軽減しました。また、園内での褥瘡発生も著明に減少し、褥瘡対応に係る職員の業務（皮膚科受診など含む）も減少しました。



▲自動体位変換機能付きエアマットレス

【見守りセンサー】

体動センサーの適正使用により、夜間の居室内事故件数は減少しました。これにより事故対応に係る職員の心理的・時間的負担の軽減が認められました。



▲眠りスキャン

▲センサー内蔵ベッド

【自動ラップ式ポータブルトイレ】

ポータブルトイレ使用後の処理にかかる時間が大幅に軽減し、臭気なども減少した結果が認められました。



▲自動ラップ式ポータブルトイレ

【ミスト浴槽】

お湯の入れ替えなどの時間が短縮し、ミスト浴に抵抗のない方であれば温浴時間はそのままに時間短縮が可能となりました。



▲シャワーポッドアラエル

■神明園における生産性向上

単に業務上のムダを省き効率化する以外にも、具体例に示したように入居者様の健康・安全な生活を追求していくことで、トラブルに対する時間や労力、心理的負担は軽減できる場合があります。このような様々な視点で取り組みの小さな成果を積み上げていくことが神明園では生産性向上につながると考えております。

ここでご紹介したのは一部の取り組みではありますが、皆様が行う生産性向上の取り組みの参考となれば幸いです。

社会福祉法人 亀鶴会 特別養護老人ホーム 神明園

開設：平成11年4月1日

定員：従来型120床+ショートステイ2床

所在地：〒205-0023 東京都羽村市神明台4-2-2

電話：042-579-2711



神明園ホームページ

教えて！外国人採用・研修・施設の取り組み

外国人受け入れの取り組み

社会福祉法人 賛育会 マイホーム新川

生活部長 ^{うえだ} ^{つとむ} 上田 勉

マイホーム新川は2019年から外国人の採用を開始しています。将来的に日本人の確保が難しくなることを見据え、特定技能や留学生の採用に拡大しました。言葉や文化の違い等、課題は多くありましたが、誠実で一生懸命な職員が多く、継続的に外国人職員を採用することで施設運営のメリットが大きいと考えました。2022年から、教育体制や紹介ルートを多様化、継続的に優秀な人材が採用できる仕組みを整備してきました。

現在、カンボジア人4名、ネパール人4名、中国人4名、インドネシア人1名、バングラデシュ人1名、ベトナム人1名の15名が働いており、全体の1割以上を占めています。施設は、在留資格更新や入国に関する書類作成を支援。その他にも、特定技能の職員に対して、宿舍借上支援事業等を利用して、住まいを確保しています。支援機関と定期的に打ち合わせを行い、連携して生活面の支援を行っています。また、日本語能力の向上や資格取得に向けた日本語教育を行っています。

2024年に外国人受け入れ委員会を立ち上げて、業務面のサポートや異文化の理解を深める方法を検討しました。定期的な外国人ミーティングやダイバーシティ勉強会を実施し、それぞれの文化の理解や考え方の違い等の学びを深めました。

来日して日の浅い外国人職員が体調不良になった際、同国出身の先輩が、交代で看病して、受診に付き添って、仲間を思いやる気持ちや助け合いが自然と行われたことに感激しました。

外国人職員が手作りのお菓子を職場に持って来て、日本人職員と一緒に「おいしいね～」と楽しみました。また、町内会の旅行やお神輿、盆踊りなど日本独特の文化を知ってもらう機会を設けました。

初めてイスラム教徒の職員を受け入れたときは、ラマダンやお祈り等、受け入れ職員も戸惑いましたが、現在は宗教や文化の違いを当たり前のよう理解できるようになりました。

課題は、帰国する際に約1ヶ月の長期休暇を希望することがあり、勤務調整に困ることがあります。しかし、それ以上に、就労意識が強く、急な出勤に協力してくれる外国人職員は、施設運営に欠かせない存在になっています。



▲ 2023年度ダイバーシティ勉強会「カンボジアを知ろう」の様子



▲ 2024年度ダイバーシティ勉強会「ネパールを知ろう」の様子

社会福祉法人 賛育会 マイホーム新川

所在地：〒104-0033 東京都中央区新川 2-27-3

電話：03-3552-5670



マイホーム新川
ホームページ

Join us!

イベントのご案内

「東京の介護ってすばらしいグランプリ」を開催します！

今年は「イベント部門」を新設し、多様な場面から介護の魅力をPRします。
詳細は特設サイトをご確認ください。皆さまのご応募お待ちしております！

東京の介護って すばらしい グランプリ 2025

最優秀賞
5万円

多様な介護の現場から「笑顔」を届ける、
年に一度のグランプリ！
東京都の介護の魅力を広く発信するため、
今年も開催します。
介護施設関係者はもちろん、
ご利用者・ご家族・地域の皆さまなど、
介護に関わるすべての方々の
ご応募をお待ちしています。

テーマ
介護＝笑顔を
地域に広げよう

今年は新たに
【イベント部門】を新設！
「写真」「レシピ」「コラム」とあわせて、
全4部門で作品を募集

応募期間 2025年9月15日(祝)～2025年11月11日(火)

募集部門 イベント部門 / 写真部門 / コラム部門 / レシピ部門

賞金 最優秀賞5万円/ 優秀賞3万円/ 入賞1万円 ※部門ごとに決定します。※各部門、最優秀賞1作、優秀賞2作、入賞3作の予定です。

応募資格 東京の介護の魅力を伝えたい方ならどなたでも(ご利用者・ご家族・一般の方・職員など)

応募方法 特設サイトの申込みフォームからご応募ください。

発表 各部門の受賞作品は、2026年2月下旬頃、特設サイトにて発表・掲載を行います。

特設サイト：開催概要・申込みフォーム・過去の受賞作品がご覧いただけます。
詳細は随時特設サイトとSNSでお知らせします！



YouTube、
Facebook、
Instagram、
Xやってます！



問い合わせ 東京の介護ってすばらしいグランプリ2025

主催：社会福祉法人東京都社会福祉協議会東京都高齢者福祉施設協議会(情報・広報室)

事務局：社会福祉法人東京都社会福祉協議会福祉部高齢担当URL <https://koureikyoo.com/> メール tokyokaigo-gp@ifys.jp

専門委員会リレートーク

第29回 施設管理検討委員会

施設管理検討委員会 委員長
社会福祉法人一誠会 第二偕楽園ホーム
常務理事 統括施設長 みずの たかお
水野 敬生

■施設運営の未来を切り拓く——施設管理検討委員会の挑戦

施設管理検討委員会は、都内の高齢者福祉施設における安全管理、感染症対策、法令遵守、運営の効率化など、施設運営に関する多様な課題を検討する委員会です。会員施設への情報提供や研修、優良事例の共有を通じて、質の高い福祉サービスの提供と運営改善の支援に取り組んでいます。



▲委員会の様子（委員が議論している場面）
幅広い視点で課題を捉え、実務に活かせる提言を
めざして議論を重ねる委員たち

■組織の礎を築いた“先駆け”の歩み

本委員会は、他の専門委員会に先駆けて横断的なテーマに取り組み、大規模災害、ホームページ、ワークエンバイロメント（労務管理）、介護ロボットの活用など、時代に即したワーキングチームを立ち上げてきました。これらの取り組みは、のちに災害対策、情報・広報、人材対策、デジタル推進といった専門委員会の設置につながり、協議会全体の組織強化に大きく貢献したと自負しています。

■経営力と視野を広げる実践的な学び

近年は、経営視点からの取り組みも一層強化しており、経営指標に基づく現状分析や対応策の検討を目的とした「施設管理者向け経営セミナー」や、実務に直結する知見をまとめた「経営ハンドブック」の制作を進めています。これらは、日々の施設運営に役立つ内容として、多くの会員施設にご活用いただいています。



▲2025年6月24日開催「施設管理者向け経営セミナー」
経営指標の活用をテーマに、実践的な学びと
気づきに満ちたセミナーとなりました

また、他業種の先進的なマネジメント手法を学び、福祉施設の運営に応用することを目的とした「異業種に学ぶ研修会」も13年にわたり継続開催しています。これまでに、松下政経塾元塾頭・上甲晃氏、元フジテレビエグゼクティブアナウンサー・露木茂氏、青山学院大学陸上競技部監督・原晋氏、そして



▲「異業種に学ぶ研修会」での原晋氏と
水野委員長
組織づくりと人材育成のヒントを原監
督から学ぶ貴重な機会となりました。

して昨年度は、能登半島地震で400人の宿泊客を無事避難させた和倉温泉「加賀屋」支配人・道下範人氏をお招きしました。いずれも日常業務では得がたい視野と刺激を得られる機会として、参加者から高い評価を得ています。

本年度は、世界的銘酒「だっさい瀬祭」を育て上げた旭酒造会長・桜井博志氏を講師に迎える予定です。挑戦と革新の真髄に触れる機会として、どうぞご期待ください。

カイコを通じてご入所者との交流

安立園養護老人ホーム

施設長 うざき 鵜崎 わたる 恒

■養護老人ホームのご入所者の現状

養護老人ホームは、措置施設として高齢者施設の一翼を担ってきましたが、令和の時代においては、福祉サービスの多様化などにより措置による入所が減少し、空床が目立つ状況が続いています。しかしながら、地域のご高齢者の中には金銭や住む場所等の提供だけではうまくいかない措置対象者の方々が多くおられます。家庭的な温かい人とのつながりや適切な生活支援を必要としている高齢者の居場所は養護老人ホームであり、そのような高齢者の人生を支えることが私たちの役割であります。安立園養護老人ホームは養老施設から続いている長い歴史のなかで複雑多岐にわたる様々なご入所者の生活に寄り添ってきました。そこで培った支援力と支援指針に基づき、個別性に配慮したご入所者支援を続けています。

■カイコを飼育するなかでのご入所者との生きがづくり

さて、府中市はかつて養蚕が盛んで、絹織物産業とゆかりの深い地域です。安立園の周り是一片桑畑だったそうです。今回、同じ地域にある東京農工大学の研究者と東京都健康長寿医療センターの依頼により「老人施設においてカイコを活用した高齢者福祉に関する研究活動」へご協力させて頂くこととなりました。本研究はカイコを活用した新しいアプローチによる高齢者福祉の可能性を探ることを目的としており、カイコはその生態や特性が人々の興味を引きやすく、飼育、観察、繭生産、繭細工等歴史的な背景の知識を広げる活動を通じて高齢者が地域で生きがいをもって活躍できる可能性を探っているとのことでした。

今回、40匹のカイコの飼育に挑戦いたしました。最初のうちは職員がサポートに入りましたが、入所者の方々は徐々に興味と愛着がわき、自ら朝と夕の餌（桑の葉）、糞の清掃を行うようになりました。カイコの図鑑を読みながら、生態について学ばれるご入所者もみられました。カイコを飼育する一連の体験を通じて、新しい知識や刺激との出会いをきっかけに、入所者同士のつながりや大学の先生など外部の方々との関係もでき、同時にやりがいや役割を持つことで日々の生活がより充実し前向きな気持ちを持てるようになってきたように思えます。今後とも、カイコの飼育を通じて入所者の方々の生活がより充実していくことを期待しつつ、取り組みを継続していきたいと思っています。



▲カイコの飼育を行うご入所者の様子



安立園養護老人ホーム
ホームページ

笑顔でつなぐ 地域とのふれあい

港区立ケアハウス港南の郷
生活相談員 ほりぐちなおみ 堀口奈央美

■「地域の一員であること」への想い

私たちケアハウス港南の郷では、ケアハウスに入居することをポジティブにとらえ、入居してから今までのように地域の一員として活躍できるよう、活動の場づくりを進めています。

■ごみ拾いウォーキングで介護予防と地域貢献

その実践の一つとして、入居者と職員が一緒に行っている「ごみ拾いウォーキング」があります。これは、施設周辺を歩きながらごみを拾う活動で、日常的な運動による介護予防効果に加え、地域を美しく保つ地域貢献にもつながっています。

「お話ししながら歩くのが楽しい」「地域の役に立っていると思えて嬉しい」といった声もあり、身体だけでなく心の健康にもよい影響を与えています。

活動を通して地域の方々とのふれあいも生まれ、笑顔が自然と広がっていきます。

■日常の中に生きがいと役割を

このような取り組みを通じて、入居者が「自分にもできることがある」「地域のために役立っている」と実感できることは、生きがいや自信につながります。私たち職員も、その笑顔に力をもらいながら支援を続けています。

■これからも、地域に根ざした施設として

私たちは、介護の現場から笑顔を発信し続ける存在でありたいと考えています。地域の方々にもご協力いただき、入居者が安心して暮らせる施設を目指して、これからも取り組みを広げていきたいと考えています。



▲ごみ拾いウォーキングの様子

港区立ケアハウス港南の郷
ホームページ ▶



カフェ×介護 =広がる笑顔とあたらしい価値 ～通所介護と日常がやさしく交わる共生のかたち～

社会福祉法人 奉優会
社会福祉事業本部 副本部長 営業推進統括室
室長 ^{くぼた かずき} 窪田 和樹



■「やりたい」を支える介護と、地域に根ざす実践

介護は「できないことを手助けする」だけでなく、「やってみたい」という気持ちに寄り添い、そっと背中を押すことでもあります。

私たち社会福祉法人奉優会は、「Action by Glocalization」地球規模で考え足元から行動する社会福祉法人となるため、やりたい事で圧倒的な価値を生み出し、地域の人々が育つことで生活が革新するという仕組みを世界で発信していくことを理念に掲げ、地域に根差した実践を行っています。

■カフェとつながる通所介護の可能性

通所介護として運営する渋谷区「ひがし健康プラザ高齢者在宅サービスセンター」では、30名定員のデイサービスを行い、併設するカフェ「ひがしラウンジ」では、グルテンフリーのカレーやからだにやさしいメニューを、誰でも気軽に楽しめる空間としてご提供しています。

このカフェは、カルチャーに共感した若者たちが日替わりでカレーを仕入れ、提供してくれており、地域と世代を越えて、介護が新しい出会いや笑顔をつないでいます。

赤ちゃんを連れてご家族、ご近所の高齢の方、お昼休みの会社員など、さまざまな人が集います。そして通所介護のご利用者も、配膳や片づけ、掃除やお客様への声かけなど、スタッフと一緒に自然なかたちで関わっています。その活動はポイントカードで「見える化」され、小さな達成感が日々の元気につながっています。

水曜日には、ケアマネジャーがカフェを開き、ふらっと立ち寄って気軽に相談できる「ケアマネはカフェにいるカフェ」も好評です。

これからも、介護を通して、あたたかなつながりを地域に広げていきます。



▲ケアマネカフェ



▲ひがしラウンジ



▲利用者の活躍の場提供

ひがしラウンジ Instagram
※ Instagram から Google
マップや食べログにア
クセス可能です。



@HY_HIGASHILOUNGE

奉優会
ホームページ▶



東京ケアリーダーズ活動紹介

社会福祉法人 楽友会 特別養護老人ホーム白楽荘

東京ケアリーダーズ副代表 ^{たかはし}高橋 ^{やまと}大和

テーマ 自分達の経験と知識を活かした活動へ



◀アクティブ福祉 in 東京'25の様子

皆さんこんにちは。東京ケアリーダーズの高橋です。今年度に入り、東京ケアリーダーズではメンバーの大幅な入れ替わりがあり、新生メンバーで再スタートを切りました。今後も東京ケアリーダーズの活動目的である「介護の仕事の魅力発信」に積極的に取り組むと共に、今まで以上に東京ケアリーダーズの知識や経験を活かしていただけるような活動に取り組んでいきたいと思っています。

■アクティブ福祉 in 東京'25

6月13日にはアクティブ福祉 in 東京'25が開催され、東京ケアリーダーズは「ケアトーク」のブース設営という形で参加させて頂きました。若手の介護職員と気軽にトークができるというテーマの元、実際に介護の現場で働く方々と交流する機会を設けることができました。他施設の現状や悩み、嬉しかった出来事などについて意見交換をすることで、刺激を多く受けることができました。また、今回のケアトークは40人以上の方に足を運んで頂き、過去最高の人数となりました。

■日本福祉教育専門学校への訪問

7月9日から11日までの3日間にかけて、日本福祉教育専門学校様へ訪問する機会を設けて頂くことができました。今回は学生の皆様に対し、「利用者の尊厳」について考えるという事をテーマに、東京ケアリーダーズのメンバーが実際に施設で体験した事例などを交え、お話をさせて頂きました。生徒の皆様が、利用者の尊厳を守るケアについて真剣に考える姿を拝見する事ができ、私達も今一度、初心に立ち返る事ができました。

東京ケアリーダーズでは一緒に活動してくれるメンバーを募集しています。介護の仕事が好きなお方、もっと好きになりたい方はぜひ、東社協ホームページやSNSをご確認ください。メンバー一同、心よりお待ちしております。

ケアマネジャー研修委員会

社会福祉法人池上長寿園

企画担当次長 おおかわ なおと 大川 直人

■ ケアマネジャー研修委員会の活動について

ケアマネジャー研修委員会は、東京都高齢者福祉施設協議会に所属する特別養護老人ホームのケアマネジャーを中心に構成されています。委員会は年4回程度開催され、主な議題は研修の企画、立案、運営に関する内容です。

■ 変化の時代に対応する専門性向上とネットワーク構築

ケアマネジャーとして職務にあたる上で、多岐にわたる情報収集は不可欠です。特に、個別性を重視したケアプラン設計やデジタル変革による業務効率化といった動きを正確かつ迅速に理解することが求められています。

さらに、地域包括ケアシステムの再編に伴い、施設ケアマネジメントの役割はますます拡大しています。具体的には、予防支援の委託、ビジネスケアラーへの対応、そして国の骨太方針など、ケアマネジャーに求められる役割は多岐にわたります。

当委員会では、このような最新の動向を踏まえ、ケアマネジャーにとって真に役立つ研修を企画しています。研修を通じて、変化の激しい介護保険制度や関連情報について迅速かつ正確な情報をキャッチアップできるだけでなく、委員会の活動を通して人的ネットワークの構築にもつながります。

研修会の立案や運営に携わることは、ご自身の所属組織への知識還元になるだけでなく、ケアマネジャーとしての専門性を深め、ケアマネジメントサイクルの質を向上させる一助となります。

研修の企画、立案、運営を通じて、ケアマネジャーとしての視野と専門性を一緒に広げていきませんか？皆さんの積極的なご参加を心よりお待ちしております！

はじめに

介護報酬事務に関する研修会(実務者編)は3部構成で各60分前後です。

以下各構成内容は

- 1 人員配置基準、定員、用語解説、令和6年度運営基準改正解説①
- 2 令和6年度運営基準改正解説②、ライフ関連加算解釈、留意事項、東京都指導検査基準観点解説
- 3 加算解釈と留意事項、東京都指導検査基準観点解説
その他日常生活費、医療控除、新加算の計画書の同意等について解説
以上3部構成となっています。



▲介護報酬事務に関する研修会(実務者編)の様子

福祉・介護の魅力にまつわるなんでもエピソード

社会福祉法人三育ライフ シャローム東久留米 管理栄養士 ^{ふくだ} ^{みく} 福田 弥玖

コミュニケーションのきっかけ

私がシャローム東久留米に入職したのは、まだまだコロナウイルスが猛威を振るっていた令和3年度でした。コロナ禍により調理レクや外食等お食事に関するイベントも自粛せざるを得ない状況となっており、食事の楽しみを感じる機会が少なくなっていました。

行事食だけではなく、日々の食事で何か楽しみやイベントが出来ないと、委託給食会社の変更に伴い休止していた選択食を再開することになりました。

見やすいように文字を調整したり、料理の写真を印刷したものを示しながらご利用者の方に聞き取りを行っています。「今日はこっちにしようかな」「楽しみだね」と皆さんお話ししながら選んでいただいています。そして選択食の聞き取りをしていくなかで、「私はこういう味付けの方が好き」「シャキシャキした野菜が食べたい」等、食事に関する要望をお話して頂くこともあり、そこから次回のメニューや行事食で取り入れたり、新しいメニューがうまれることに繋がっています。

毎月行っていくうちに、ご利用者の方に聞き取り以外の場面でも「今日は何を聞きに来たんだい」「今日のご飯はなに?」「この前のはいまいちだったよ」等、たまに厳しい意見もありますが話しかけて頂けることが増えました。

食事の楽しみの一つとして始めた選択食ですが、**今ではご利用者の方とのコミュニケーションのきっかけ**となり、私の中で欠かせないものとなっています。

これからもご利用者の声に耳を傾け、食事の楽しみをご提案できるよう努めてまいります。



▲選択食を選んでいるご利用者

読者モニターからのご意見（一部抜粋） - 61号 -

- 委員の方々の思いがしっかりと理解できました（高齢協トピックス）
- あえて海外の料理（しかもエスニック）を特養で献立に挑戦するアイデアが素晴らしいなと思いました（うわさの施設）
- digital記事ではなるべく写真や資料など掲載してもらえたらと思います（うわさの施設）
- イベント食で食べ物だけではなく、パンフレットを添えているという工夫が素晴らしいと思いました（うわさの施設）
- 秘話が毎日投稿されている情報がよかった。介護職の励みになると感じました（Join us! イベントのご案内）
- 外国人職員の雇用に悩んでいる他施設にもヒントになることがあるのではないかと感じました（教えて!外国人採用）
- 外国人の採用や実習生が増えてきているので、日々課題を感じており、大変参考になりました（教えて!外国人採用）
- 「介護状態の前に養護状態あり」とはなるほどと感じた（養護分科会トピックス）

▶いただいたご意見はよりよい機関誌発行のために活かしてまいります。

読者アンケートはこちら▶



編集後記

皆さまの施設は、お米高騰の影響はいかがでしょうか。62号は、サンバチームによるダンスでスタートした、「関東ブロック」と「アクティブ福祉 in 東京」の合同開催の特集です。12年振りに東京都で開催された大会には、多くの方々が来場されました。今回の合同大会では、物価高騰、人手不足などの課題に対して、首都圏の高齢者施設の取り組みも聞くことができ非常に参考になりました。機関誌でも施設運営に役立つ情報を提供できるよう努めて参ります。

社会福祉法人 台東区社会福祉事業団
台東区立特別養護老人ホーム谷中
施設長 勝又 宏



高齢協公式 SNS 更新中♪
フォロー、
よろしくお願いします🐾

Facebook



Instagram



高齢協公式
@TokyoKourei



高齢協会長
@koureikyo



東社協
東京都高齢者
福祉施設協議会

